

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会  
「エイジフレンドリー補助金事務センター」  
(ホームページ <https://www.jashcon-age.or.jp>)

|                        |   |      |
|------------------------|---|------|
| 関係書類<br>送付先<br>(郵送の場合) | 〒105-0014 東京都港区芝1-4-10 トイヤビル5階<br>エイジフレンドリー補助金事務センター<br>交付申請書類は「申請担当」宛へ、支払請求書類は「支払担当」宛へお送りください<br>申請書類は郵送または宅配便で送付ください（メールでの申請はできません）<br>封筒に消印が確認できない料金別納・料金後納や、受付日の確認できない宅配便では<br>送付しないでください |      |
| お問合せ先                  | 申請担当  | 支払担当 |
| 受付時間                   | 平日10:00~12:00/13:00~15:00<br>(土日祝休み、平日12:00~13:00は電話に出ることができません)<br><8月12日~8月15日（夏季休暇）、12月29日~1月3日（年末年始）を除く>  |      |

参考：エイジフレンドリーガイドライン  
(高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)  
ポイント



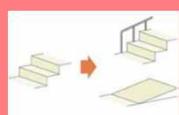
### 1. 安全衛生管理体制の確立

- 経営トップ(社長など)が高年齢労働者の労働災害防止対策に取り組む方針を表明し、対策の担当者を明確化します。
- 高年齢労働者の身体機能の低下等による労働災害発生リスクについて、災害事例やヒヤリハット事例から洗い出し、優先順位をつけて2以降の対策を実施します。



### 2. 職場環境の改善

- 身体機能の低下を補う設備・装置の導入等改善を行います（ハード面の対策）
- 敏捷性や持久性、筋力の低下等の高年齢労働者の特性を考慮して作業内容の見直しを行います（ソフト面の対策）



### 3. 高年齢労働者の健康や体力の状況の把握

- 事業者、高年齢労働者双方が当該高年齢労働者の体力の状況を客観的に把握し、必要な対策を行うため、主に高年齢労働者を対象とした体力チェックを継続的に行うよう努めます。

体力チェック例(転倒等リスク評価セルフチェック票)



### 4. 高年齢労働者の健康や体力に応じた対応

- 個々の労働者の状況に応じ、安全と健康の点で適合する業務をマッチングさせるよう努めます。
- 「事業場における労働者の健康保持増進のための指針（THP指針）」に基づく取組に努めます。
- 集団及び個々の高年齢労働者を対象として、身体機能の維持向上のための取組を実施することが望まれます。



### 5. 安全衛生教育

- 労働者と関係者に高年齢労働者に特有の特徴と対策についての教育を行うよう努めます。  
(再雇用や再就職等で経験のない業種、業務に従事する場合、特に丁寧な教育訓練を行います。)



参考：職場改善ツール

「エイジアクション100」チェックリスト

